



米国食品医薬品局 (FDA) の評価



FDAとは



米国食品医薬品局はFDA (Food and Drug Administration) と呼ばれている米国健康福祉省に設置された機関の一つである。医薬品、食品、医療機器、化粧品等の効能や安全性を確保することを通じて、消費者の健康を守るために必要な措置や調査研究を行っている機関。

評価経緯

1990年代後半より、獣医学研究所 (CVM: Center for Veterinary Medicine) において体細胞クローン家畜及びその後代由来食品について検討してきた。

2002年6月には、独立した学術機関の米国科学アカデミー (NAS: National Academy of Science) においてデータが検証され、報告書が公表された。

2008年1月には、FDAにおいては、NAS報告書以降も引き続きデータ収集と検証作業を行った結果、報告書を公表した。



米国食品医薬品局 (FDA) の評価結果



評価結果

体細胞クローン技術を用いて産出された牛、豚及び山羊並びにあらゆる体細胞クローン家畜の後代に由来する食品(肉及び乳)は、従来の繁殖方法で産出された家畜に由来する食品と安全性において同等である。